

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	すべての人が安全で快適に移動できる道路空間を創出する道づくり			
計画期間	平成30年度～令和4年度（5年間）			全体事業費	11,221百万円	国費率	0.50	
交付期間	平成30年度～令和4年度（5年間）	事後評価実施時期	令和4年度	交付対象事業費	11,221百万円	国費率	0.50	
1)事業の実施状況	対象事業	要素事業名						
		A.地方道整備事業	(2)西新通線(百道浜工区)、(1)清水干隈線(干隈工区)、(2)高美台線(高美台工区)、(1)上牟田清水2号線(博多駅南工区)、(一)検原比恵線(平尾1工区)、(国)385号(清水工区)、(主)福岡早良大野城線(脇山2工区)、(一)町川原福岡線(下原工区)、(一)町川原福岡線(香椎駅東工区)、(1)南庄小田部線(小田部2工区)、(国)495号(和白工区)、(一)大原周船寺停車場線(周船寺駅前交差点)、(一)大原周船寺停車場線(周船寺工区)、(一)猪野土井線(土井4工区)、(1)地行鳥飼七隈線(鳥飼1工区)、(都)国道3号線(半道橋・板付工区)、(都)国道3号線(東那珂工区)、(都)老司片江線(野多目工区)、(都)老司片江線(やよい坂工区)、(一)検原比恵線(平尾1工区)、(一)大原周船寺停車場線(周船寺工区)、(国)495号(和白工区)、(都)博多箱崎線(千代・馬出工区)、(都)築港石城町線(石城町工区)、(一)馬出上南町線ほか、(他)百道浜2785号線(百道浜1工区)、(1)清水干隈線(七隈8工区)、(一)内野次郎丸弥生線ほか、(1)清水干隈線ほか					
		B.関連社会資本整備事業						
		C.効果促進事業						
	その他関連する事業							
	進捗状況	A.地方道整備事業	要素事業名		事業内容(延長・面積等)		事業進捗(R04年度末予定)	
			(2)西新通線(百道浜工区)		バリアフリー化:0.66km		完了	
			(1)清水干隈線(干隈工区)		バリアフリー化:0.45km		完了	
			(2)高美台線(高美台工区)		バリアフリー化:0.43km		完了	
			(1)上牟田清水2号線(博多駅南工区)		歩道整備:0.54km		整備中	
(一)検原比恵線(平尾1工区)			歩道整備:0.21km		整備中			
(国)385号(清水工区)			歩道整備:0.07km		整備中			
(主)福岡早良大野城線(脇山2工区)			歩道整備:0.26km		完了			
(一)町川原福岡線(下原工区)			歩道整備:0.18km		整備中			
(一)町川原福岡線(香椎駅東工区)			歩道整備:0.43km		整備中			
(1)南庄小田部線(小田部2工区)			歩道整備:0.16km		完了			
(国)495号(和白工区)			歩道整備:1.17km		整備中			
(一)大原周船寺停車場線(周船寺駅前交差点)			歩道整備:0.16km		完了			
(一)大原周船寺停車場線(周船寺工区)			歩道整備:0.10km		完了			
(一)猪野土井線(土井4工区)			歩道整備:0.35km		整備中			
(1)地行鳥飼七隈線(鳥飼1工区)			歩道整備:0.20km		整備中			
(都)国道3号線(半道橋・板付工区)		歩道整備・電線共同溝:1.45km		整備中				
(都)国道3号線(東那珂工区)		歩道整備・電線共同溝:1.92km		整備中				
(都)老司片江線(野多目工区)		歩道整備:1.54km		完了				
(都)老司片江線(やよい坂工区)		歩道整備:0.73km		整備中				
(一)検原比恵線(平尾1工区)		電線共同溝:0.48km		整備中				
(一)大原周船寺停車場線(周船寺工区)		電線共同溝:0.28km		整備中				
(国)495号(和白工区)		電線共同溝:2.34km		整備中				
(都)築港石城町線(石城町工区)		電線共同溝:0.72km		整備中				
(都)築港石城町線(石城町工区)		電線共同溝:0.15km		整備中				
(一)馬出上南町線ほか		路側のカラー化:29.25km		整備中				
(他)百道浜2785号線(百道浜1工区)		バリアフリー化:0.21km		完了				
(1)清水干隈線(七隈8工区)		電線共同溝:0.60km		整備中				
(一)内野次郎丸弥生線ほか		交通安全対策:134箇所		完了				
(1)清水干隈線ほか		自転車通行空間:2.81km		整備中				
B.関連社会資本整備事業								
C.効果促進事業								
その他関連する事業								
2)事業の効果発現状況	成果目標の達成状況	指標名・算定式		当初現況値(H30年当初)	目標値(R04末)	実績値(R04末予定)	目標値と実績値に差が出た要因	
		フラット化率(%)=(整備済み路線延長)/(要素事業の歩道の整備予定路線総延長)×100		0%	83%	47%	用地買収において、地権者による家屋や営業継続のための移転先選定に時間を要した等の理由により、事業の進捗が遅れたため。	
		整備率(%)=(整備済み路線延長)/(要素事業の電線共同溝の整備予定路線総延長)×100		0%	71%	4%(R2末)	当初計画は令和4年度までの5か年計画であったが、無電柱化事業は令和3年度までに個別補助等へ移行し、3か年の計画となったため。	
		整備率(%)=(整備済み延長)/(要素事業の路側カラー化の整備予定延長)×100		0%	100%	60%	工事中の沿線利用に関する地元調整や交通安全対策に関する関係機関との協議・調整に時間を要した等の理由により、事業の進捗が遅れたため。	
		対策率(%)=(対策済み箇所)/(要素事業の交通安全対策予定箇所)×100		0%	100%	100%	-	
	自転車通行空間ネットワーク計画路線の整備率(%)=(整備済み路線延長)/(要素事業の整備予定路線延長)×100		0%	100%	16%(R2末)	令和2年度から令和4年度までの3か年計画であったが、自転車通行空間整備事業は令和3年度から別の整備計画へ移行し、1か年の計画となったため。		
成果目標以外の要素事業の効果発現状況(定性的な効果)		・フラット化及び路側カラー化の整備、未就学児の移動経路における交通安全対策により、通学児童をはじめとする歩行者の安全性を確保。 ・自転車通行空間整備により、歩行者の安全を確保しながら、自転車や自動車など誰もが安全で快適に移動できる道路空間を確保。						
関連社会資本整備事業、効果促進事業の効果発現状況(定性的な効果)		-						
3)その他	今後の事業予定等	・整備中の路線については、引き続き国の交付金を活用しながら、地元や関係期間との協議・調整を図り、早期完了に努める。						

※完了予定については、計画予算が確保された場合の目標であり、事業の進捗状況、財政事情等により適宜見直しを行います。

様式2-2 計画の概要

すべての人が安全で快適に移動できる道路空間を創出する道づくり							
事業の目的	成果指標・算定式	当初現況値 (H30当初)	目標値 (R04末)	実績値 (R04末予定)	目標値と実績値に差が出た要因		
福岡市では、依然として歩道等の整備状況が十分でないため、高齢者や通学児童をはじめとする歩行者の安全が脅かされている状況である。また、近年の災害時の備えに対する市民の意識が高まっていく中で、台風や地震などの災害時の電柱倒壊や電線の垂れ下がり等による通行阻害防止や、防災空間として避難道路や緊急輸送道路の道路機能を保つための無電柱化を推進していく必要がある。 そのため、幹線道路及び生活道路において、歩行者と自動車の分離を進めるとともに、通学路の十分な歩道を確保し、既存の歩道についてもバリアフリー化を進めることで、安全性と快適性を備えたユニバーサルデザイン化を図る。また、併せて無電柱化を進めることで、災害時等の電柱倒壊による道路閉塞等を防止し、防災面での強化を促進することですべての人が安心して行動できる道路空間の創出を図る。 また、未就学児が日常的に移動する経路において安全・安心を確保するために必要な交通安全対策の推進を図る。	フラット化率(%)=(整備済み路線延長)÷(要素事業の歩道の整備予定路線総延長)×100	0%	83%	47%	用地買収において、地権者による家屋や営業継続のための移転先選定に時間を要した等の理由により、事業の進捗が遅れたため。		
	整備率(%)=(整備済み路線延長)÷(要素事業の電線共同溝の整備予定路線総延長)×100	0%	71%	4%	(R2末)	当初計画は令和4年度までの5か年計画であったが、無電柱化事業は令和3年度までに個別補助等へ移行し、3か年の計画となったため。	
	整備率(%)=(整備済み延長)÷(要素事業の路側カラー化の整備予定延長)×100	0%	100%	60%	工事中の沿線利用に関する地元調整や交通安全対策に関する関係機関との協議・調整に時間を要した等の理由により、事業の進捗が遅れたため。		
	対策率(%)=(対策済み箇所)÷(要素事業の交通安全対策予定箇所)×100	0%	100%	100%	-		
	自転車通行空間ネットワーク計画路線の整備率(%)=(整備済み路線延長)÷(要素事業の整備予定路線延長)×100	0%	100%	16%	(R2末)	令和2年度から令和4年度までの3か年計画であったが、自転車通行空間整備事業は令和3年度から別の整備計画へ移行し、1か年の計画となったため。	



(一)内野次郎丸弥生線ほか(写真:(一)内野次郎丸弥生線)



(1)清水干隈線ほか(写真:(1)清水干隈線)

区分	番号	事業種別	要素事業名	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	R04年度末での 供用状況(予定)
					H30	R01	R02	R03	R04		
A. 地方道路整備事業	3-A1	道路	(2) 西新通線 (百道浜工区)	バリアフリー化: 0.66km						30	完了
	3-A2	道路	(1) 清水干隈線 (干隈工区)	バリアフリー化: 0.45km						179	完了
	3-A3	道路	(2) 高美台線 (高美台工区)	バリアフリー化: 0.43km						108	完了
	3-A4	道路	(1) 上本田清水2号線 (博多駅南工区)	歩道整備: 0.54km						424	整備中
	3-A5	道路	(一) 松原比恵線 (平尾1工区)	歩道整備: 0.21km						169	整備中
	3-A6	道路	(国) 385号線 (清水工区)	歩道整備: 0.07km						52	整備中
	3-A7	道路	(主) 福岡平良大野線 (島山2工区)	歩道整備: 0.26km						451	完了
	3-A8	道路	(一) 町川原福岡線 (下原工区)	歩道整備: 0.18km						123	整備中
	3-A9	道路	(一) 町川原福岡線 (香椎駅東工区)	歩道整備: 0.43km						240	整備中
	3-A10	道路	(1) 南庄小田線 (小田第2工区)	歩道整備: 0.16km						63	完了
	3-A11	道路	(国) 495号線 (和白丘工区)	歩道整備: 1.17km						86	整備中
	3-A12	道路	(一) 大原周船寺停車場線 (周船寺駅前交差点)	歩道整備: 0.16km						113	完了
	3-A13	道路	(一) 大原周船寺停車場線 (周船寺工区)	歩道整備: 0.10km						323	完了
	3-A14	道路	(一) 猪野土井線 (土井4工区)	歩道整備: 0.35km						585	整備中
	3-A15	道路	(1) 地行島野七隈線 (島野1工区)	歩道整備: 0.20km						743	整備中
	3-A16	街路	(都) 西道3号線 (中道橋・板付工区)	歩道整備・電線共同溝: 1.45km						1,402	整備中
	3-A17	街路	(都) 西道3号線 (東那珂工区)	歩道整備・電線共同溝: 1.92km						1,925	整備中
	3-A18	街路	(都) 老司片江線 (野多目工区)	歩道整備: 1.54km						84	完了
	3-A19	街路	(都) 老司片江線 (やよい坂工区)	歩道整備: 0.73km						2,812	整備中
	3-A20	道路	(一) 松原比恵線 (平尾1工区)	電線共同溝: 0.48km						10	整備中
	3-A21	道路	(一) 大原周船寺停車場線 (周船寺工区)	電線共同溝: 0.28km						10	整備中
	3-A22	道路	(国) 495号線 (和白丘工区)	電線共同溝: 2.34km						5	整備中
	3-A23	街路	(都) 博多箱崎線 千代・馬出工区	電線共同溝: 0.72km						50	整備中
	3-A24	街路	(都) 坂港石城町線 石城町工区	電線共同溝: 0.15km						607	整備中
	3-A25	道路	(一) 馬出上南町線ほか	路側のカラー化: 29.25km						411	整備中
	3-A26	道路	(他) 百道前2785号線 百道前1工区	バリアフリー化: 0.21km						50	完了
	3-A27	道路	(1) 清水干隈線 (七隈S工区)	電線共同溝: 0.60km						100	整備中
	3-A28	道路	(一) 内野次郎丸弥生線ほか	交通安全対策: 134箇所						45	完了
	3-A29	道路	(1) 清水干隈線ほか	自転車通行空間: 2.81km						21	整備中
B. 関連社会資本整備事業				なし							
C. 効果促進事業				なし							
その他関連する事業				なし							

主な事業効果
 ・(一)大原周船寺停車場線 (周船寺駅前工区)等のフラット化、(一)馬出上南町線等の路側カラー化、(一)内野次郎丸弥生線等での交通安全対策の実施により通学児童の安全・安心な歩行環境が確保された。
 ・(1)清水干隈線の自転車空間整備により、歩行者の安全を確保しながら、自転車や自動車など誰もが安全で快適に移動できる道路空間が確保された。

※完了予定については、計画予算が確保された場合の目標であり、事業の進捗状況、財政事情等により適宜見直しを行います。